

## 帝京平成大学 健康メディカル学部 理学療法学科 2025 年度 教員資格及び教育内容等の自己評価書

**【自己評価 1-1】 専任教員の配置状況**

学部・学科等の名称	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士数	助手			
健康メディカル学部 理学療法学科	5 人	5 人	6 人	0 人	16 人	12 人	16 人	0 人	4 人	28 人	
計	5 人	5 人	6 人	0 人	16 人	12 人	16 人	0 人	4 人	28 人	

**【自己評価 1-2】 当てはまる自己評価欄に○を記載。**

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	理学療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
<input type="radio"/>	理学療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
<input type="radio"/>	理学療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

**【自己評価 1-3】 当てはまる自己評価欄に○を記載。**

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
<input type="radio"/>	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
<input type="radio"/>	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
<input type="radio"/>	上記以外である。	1

**【自己評価 1-4】 当てはまる自己評価欄に○を記載。**

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	専任教員（理学療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
<input checked="" type="radio"/>	専任教員（理学療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
<input type="radio"/>	専任教員（理学療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
基礎 分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	フレッシュセミナーⅠA	15	泉 美帆子 講師 吉本 真純 講師 森山 義尚 講師 芳野 純 准教授 宮崎 学 講師	専任
		フレッシュセミナーⅠB	15	森山 義尚 講師 芳野 純 准教授 吉本 真純 講師 泉 美帆子 講師 宮崎 学 講師	専任
		フレッシュセミナーⅡA	15	宮本 浩樹 講師 宮崎 学 講師 窪川 徹 教授 森川 亘 准教授 玉利 光太郎 教授 景山 剛 准教授 知脇 希 准教授 飯田 修平 准教授 川北 大 講師	専任
		フレッシュセミナーⅡB	15	宮本 浩樹 講師 宮崎 学 講師 窪川 徹 教授 森川 亘 准教授 玉利 光太郎 教授 景山 剛 准教授 知脇 希 准教授 飯田 修平 准教授 川北 大 講師	専任
		アドバンスセミナーⅠA	15	宮本 浩樹 講師 宮崎 学 講師 窪川 徹 教授 森川 亘 准教授 玉利 光太郎 教授 景山 剛 准教授 知脇 希 准教授 飯田 修平 准教授 川北 大 講師	専任
		アドバンスセミナーⅠB	15	宮本 浩樹 講師 宮崎 学 講師 窪川 徹 教授 森川 亘 准教授 玉利 光太郎 教授 景山 剛 准教授 知脇 希 准教授 飯田 修平 准教授 川北 大 講師	専任
		アドバンスセミナーⅡ	集中	景山 剛 准教授 窪川 徹 教授 宮本 浩樹 講師 飯田 修平 准教授 森山 義尚 講師 阪井 康友 教授	専任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎 分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	現代英語 I A	15	後藤 理恵 中山 由美子 森島 遼 講師 小椋 真由美 講師	兼任 非常勤
		現代英語 I B	15	後藤 理恵 非常勤講師 中山 由美子 非常勤講師 森島 遼 講師 小椋 真由美 講師	兼任 非常勤
		情報リテラシー演習・DS概論	30	川北 大 講師 宮崎 学 講師 森山 義尚 講師 林 昌純 講師	専任 兼任
		TOEIC 英語	15	バイアシュミット 順子 講師	兼任
		読書ゼミナール	15	非開講	
		社会学	15	小椋 真由美 講師	兼任
		暮らしと法律	15	大村 浩靖 教授	兼任
		経営・経済学	15	阿部 廉 教授	兼任
		簿記学	15	諸藤 加寿代 講師	兼任
		社会保障	15	上野 治香 准教授 五反分 正彦 客員教授	兼任 非常勤
		キャリアプラン	15	瀬戸山 聡子 教授	兼任
		教育原理	15	牛込 彰彦 教授	兼任
		教育方法・ICT活用論	15	芳野 純 准教授 景山 剛 准教授	専任
		医療の歴史	15	藤田 尚 教授	兼任
		こころと体の健康	15	瀬戸山 聡子 教授 盛田 路子 准教授	兼任
		人間関係論	15	森島 遼 講師 楠瀬 悠 准教授	兼任
		異文化理解	15	水澤 純人 講師	兼任
		ホリデー留学	集中	佐々木 良壽 教授	兼任
		国際リハビリテーション	15	知脇 希 准教授 玉利 光太郎 教授 栗原 良子 講師 植田 恵 教授	専任 兼任
		統計基礎	15	高野 文之 講師	兼任
		自然環境と防災	15	小森 次郎 教授	兼任
		レクリエーション論	15	小安 雄久 教授	兼任
		レクリエーション実技 I	15	清水 貴司 講師	兼任
レクリエーション実技 II	15	清水 貴司 講師	兼任		
ボランティア論	15	石川 由美 准教授 増田 康弘 講師	兼任		

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
基礎 分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	SDG s 概論	15	小森 次郎 教授 新村 恵美 教授 大塚 淳子 教授 田中 良広 教授 荘島 幸子 准教授 上野 治香 准教授 庄司 一也 准教授 小室 譲 講師 鈴木 一行 教授 小原 道子 教授 松代 真琳 講師 田澤 茂之 教授	兼任
		SDG s 各論A	集中	小森 次郎 教授 上野 治香 准教授 松代 真琳 講師	兼任
		SDG s 各論B	集中	大塚 淳子 教授 田澤 茂之 教授 荘島 幸子 准教授	兼任
		SDG s 各論C	集中	新村 恵美 教授 小室 譲 講師 庄司 一也 准教授	兼任
		SDG s 演習	集中	新村 恵美 教授 小森 次郎 教授	兼任
専門 基礎 科目	人体の構造と機能 及び心身の発達	人体の構造 I	15	森 倫範 教授	兼任
		人体の構造 II	15	展 広智 教授	兼任
		人体の機能	15	榊田 真一 講師	兼任
		ライフサイエンス	15	徳田 良英 教授 景山 剛 准教授	専任
		人体の構造・機能(実習)	30	榊澤 雅弘 教授 濱田 剛 教授	兼任
		運動学 I	15	飯田 修平 准教授 加藤 勝行 教授 森山 義尚 講師	専任
		運動学 II	15	加藤 勝行 教授 川北 大 講師	専任
		運動学実習	15	川北 大 講師 景山 剛 准教授 泉 美帆子 講師 玉利 光太郎 教授 知脇 希 准教授 徳田 良英 教授 飯田 修平 准教授	専任
	疾病と傷害の成り立ち 及び回復過程の促進	病因病態学	8	江面 陽一 教授	兼任
		臨床医学 I (内科系)	15	和泉 孝志 教授	兼任
		臨床医学 II (外科系)	15	江面 陽一 教授	兼任
		臨床医学 III (神経系)	15	永井 知代子 教授	兼任
		精神医学	15	内田 信也 客員准教授	非常勤
人間発達学		8	阪井 康友 教授 窪川 徹 教授	専任	

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
専門基礎科目	疾病と傷害の成り立ち 及び回復過程の促進	リハビリテーションと薬	8	濃沼 政美 教授	兼任
		リハビリテーションと栄養	8	野口 律奈 教授	兼任
		リハビリテーションと救急救命	8	藤田 尚 教授	兼任
		画像評価学	8	江面 陽一 教授	兼任
		臨床心理学	15	高野 光司 講師	専任
	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	15	桺澤 雅弘 教授	兼任
		リハビリテーション概論	15	加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授	専任
多職種連携論入門		8	下岡 隆之 准教授 森山 義尚 講師 芳野 純 准教授 中本 久之 講師	専任 兼任	
専門科目	基礎理学療法学	基礎理学療法学	15	加藤 勝行 教授 宮本 浩樹 講師	専任
	理学療法管理学	職業倫理職場管理学	15	芳野 純 准教授 阪井 康友 教授 景山 剛 准教授	専任
	理学療法評価学	理学療法評価学 I	15	吉本 真純 講師 宮崎 学 講師	専任
		理学療法評価学 II	15	宮本 浩樹 講師 川北 大 講師	専任
	基礎理学療法学	表面解剖と触診入門	15	阪井 康友 教授 宮本 浩樹 講師 吉本 真純 講師 森山 義尚 講師 川北 大 講師 景山 剛 准教授	専任
	理学療法評価学	理学療法評価学実習 I	15	宮崎 学 講師 阪井 康友 教授 宮本 浩樹 講師 知脇 希 准教授 芳野 純 准教授 森山 義尚 講師	専任
		理学療法評価学実習 II	15	森山 義尚 講師 知脇 希 准教授 芳野 純 准教授 景山 剛 准教授 宮崎 学 講師 宮本 浩樹 講師 川北 大 講師	専任
	理学療法治療学	理学療法治療学 I (運動系)	15	玉利 光太郎 教授 宮本 浩樹 講師 吉本 真純 講師	専任
		理学療法治療学 I 実習 (運動系)	15	玉利 光太郎 教授 加藤 勝行 教授 宮本 浩樹 講師 飯田 修平 准教授 森山 義尚 講師 吉本 真純 講師 川北 大 講師	専任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
専門 科目	理学療法治療学	理学療法治療学Ⅱ（中枢神経系）	15	飯田 修平 准教授 泉 美帆子 講師	専任
		理学療法治療学Ⅱ実習 （中枢神経系）	15	飯田 修平 准教授 泉 美帆子 講師 知脇 希 准教授 宮崎 学 講師 玉利 光太郎 教授 川北 大 講師 森川 亘 准教授 宮本 浩樹 講師	専任
		理学療法治療学Ⅲ（内部障害系）	15	川北 大 講師 窪川 徹 教授	専任
		理学療法治療学Ⅲ実習 （内部障害系）	15	景山 剛 准教授 森川 亘 准教授 窪川 徹 教授 知脇 希 准教授 徳田 良英 教授 川北 大 講師	専任
		理学療法治療学Ⅳ（小児・神経系）	15	窪川 徹 教授 阪井 康友 教授	専任
		理学療法治療学Ⅳ実習 （小児・神経系）	15	窪川 徹 教授 阪井 康友 教授 知脇 希 准教授 森川 亘 准教授 飯田 修平 准教授 徳田 良英 教授	専任
		予防理学療法学	8	景山 剛 准教授 玉利 光太郎 教授 知脇 希 准教授	専任
	基礎理学療法学	物理療法学	15	吉本 真純 講師 飯田 修平 准教授 宮崎 学 講師	専任
		物理療法学実習	15	森山 義尚 講師 飯田 修平 准教授 泉 美帆子 講師 宮本 浩樹 講師 吉本 真純 講師 景山 剛 准教授 徳田 良英 教授	専任
	理学療法治療学	日常生活活動技術学	15	芳野 純 准教授 徳田 良英 教授	専任
		日常生活活動技術学実習	15	宮本 浩樹 講師 森川 亘 准教授 芳野 純 准教授 徳田 良英 教授 知脇 希 准教授 森山 義尚 講師 窪川 徹 教授	専任
		義肢装具学	15	森川 亘 准教授 泉 美帆子 講師	専任
		義肢装具学実習	15	森川 亘 准教授 泉 美帆子 講師 芳野 純 准教授 森山 義尚 講師	専任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
専 門 科 目	基礎理学療法学	運動療法技術学	8	川北 大 講師 加藤 勝行 教授 玉利 光太郎 教授 森山 義尚 講師 森川 亘 准教授 窪川 徹 教授	専任
	理学療法治療学	徒手療法学	8	吉本 真純 講師 窪川 徹 教授 宮崎 学 講師 宮本 浩樹 講師 加藤 勝行 教授	専任
	理学療法評価学	スポーツ理学療法学	8	宮崎 学 講師 加藤 勝行 教授 吉本 真純 講師	専任
	基礎理学療法学 理学療法評価学 理学療法治療学 地域理学療法学	リハビリテーション工学	15	徳田 良英 教授 飯田 修平 准教授 樋口 正勝 教授 黒田 生子 教授	専任 兼任
	地域理学療法学	生活環境学	15	徳田 良英 教授 窪川 徹 教授	専任
		地域理学療法学 I	8	知脇 希 准教授 阪井 康友 教授	専任
		地域理学療法学 II	8	知脇 希 准教授 玉利 光太郎 教授	専任
	臨床実習	臨床実習 I	集中	窪川 徹 教授 加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授 徳田 良英 教授 森川 亘 准教授 芳野 純 准教授 玉利 光太郎 教授 知脇 希 准教授 宮本 浩樹 講師 泉 美帆子 講師 飯田 修平 准教授 宮崎 学 講師 吉本 真純 講師 景山 剛 准教授 川北 大 講師 森山 義尚 講師	専任
		臨床実習 II	集中	窪川 徹 教授 加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授 徳田 良英 教授 森川 亘 准教授 芳野 純 准教授 玉利 光太郎 教授 知脇 希 准教授 宮本 浩樹 講師 泉 美帆子 講師 飯田 修平 准教授 宮崎 学 講師 吉本 真純 講師 景山 剛 准教授 川北 大 講師 森山 義尚 講師	専任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
専門 科目	臨床実習	臨床実習Ⅲ	集中	窪川 徹 教授 加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授 徳田 良英 教授 森川 亘 准教授 芳野 純 准教授 玉利 光太郎 教授 知脇 希 准教授 宮本 浩樹 講師 泉 美帆子 講師 飯田 修平 准教授 宮崎 学 講師 吉本 真純 講師 景山 剛 准教授 川北 大 講師 森山 義尚 講師	専任
		臨床実習Ⅳ	集中	窪川 徹 教授 加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授 徳田 良英 教授 森川 亘 准教授 芳野 純 准教授 玉利 光太郎 教授 知脇 希 准教授 宮本 浩樹 講師 泉 美帆子 講師 飯田 修平 准教授 宮崎 学 講師 吉本 真純 講師 景山 剛 准教授 川北 大 講師 森山 義尚 講師	専任
	理学療法治療学	理学療法研究方法論	15	玉利 光太郎 教授 阪井 康友 教授	専任
		理学療法研究方法論実習Ⅰ	15	窪川 徹 教授 加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授 景山 剛 准教授 吉本 真純 講師 芳野 純 准教授 森川 亘 准教授 徳田 良英 教授 飯田 修平 准教授 宮崎 学 講師 森山 義尚 講師	専任
		理学療法研究方法論実習Ⅱ	15	徳田 良英 教授 加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授 知脇 希 准教授 芳野 純 准教授 宮本 浩樹 講師 泉 美帆子 講師 吉本 真純 講師 森川 亘 准教授 玉利 光太郎 教授	専任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・ 兼任
専 門 科 目	基礎理学療法学 理学療法評価学 理学療法治療学 地域理学療法学	デンバー研修	集中	知脇 希 准教授 玉利 光太郎 教授 宮本 浩樹 講師 川北 大 講師 飯田 修平 准教授 知脇 希 准教授	専任
	基礎理学療法学 理学療法管理学 理学療法評価学 理学療法治療学 地域理学療法学	ランシット大学理学療法研修	集中	知脇 希 准教授 玉利 光太郎 教授 川北 大 講師	専任
		国際理学療法学	8	玉利 光太郎 教授 景山 剛 准教授	専任
	基礎理学療法学 理学療法管理学 地域理学療法学	障害者スポーツⅠ	集中	泉 美帆子 講師 吉本 真純 講師	専任
		障害者スポーツⅡ	集中	泉 美帆子 講師 吉本 真純 講師	専任
	基礎理学療法学 理学療法管理学 理学療法評価学 理学療法治療学 地域理学療法学	多職種連携論	15	芳野 純 准教授 下岡 隆之 准教授 鶴木 恵子 教授 原田 円 講師 高橋 寛子 准教授	専任 兼任
		卒業研究	集中	窪川 徹 教授 加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授 徳田 良英 教授 森川 亘 准教授 芳野 純 准教授 玉利 光太郎 教授 知脇 希 准教授 宮本 浩樹 講師 泉 美帆子 講師 飯田 修平 准教授 宮崎 学 講師 吉本 真純 講師 景山 剛 准教授 川北 大 講師 森山 義尚 講師	専任
	理学療法治療学	臨床技能演習	15	阪井 康友 教授 加藤 勝行 教授 芳野 純 准教授 飯田 修平 准教授 川北 大 講師 宮本 浩樹 講師 景山 剛 准教授 森山 義尚 講師	専任
		特別総合演習	30	窪川 徹 教授 加藤 勝行 教授 阪井 康友 教授 徳田 良英 教授 森川 亘 准教授 芳野 純 准教授 玉利 光太郎 教授 知脇 希 准教授 宮本 浩樹 講師 泉 美帆子 講師 飯田 修平 准教授 宮崎 学 講師 吉本 真純 講師 景山 剛 准教授 川北 大 講師 森山 義尚 講師 柳澤 雅弘 教授	専任 兼任

【自己評価 2-2】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
○	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記載。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
臨床実習Ⅰ（見学実習）	1年後期	リハビリテーション概論	1年後期
		基礎理学療法学	1年前期
臨床実習Ⅱ（地域医療見学実習）	2年後期	地域理学療法学Ⅰ	2年後期
臨床実習Ⅲ	3年後期	理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ	1年後期
			2年前期
臨床実習Ⅳ	4年前期	理学療法治療学Ⅰ～Ⅳ	2年前期～ 3年前期

【自己評価 3-3】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価のための体制を記載。

自己点検・評価組織名	帝京平成大学自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	委員長：沖永 寛子（学長） 学科からの委員：加藤 勝行（学科長）、景山 剛 学科内の評価チーム：加藤 勝行、景山 剛、飯田 修平
組織の開催頻度	年度内に2乃至3回
組織の取り組み内容	大学レベルでの自己点検・評価の実施と結果の公表 学位プログラムレベル（学科・コース等）での本学教育評価基準に基づく自己点検・評価の実施 本学アセスメント指標となる学内データの収集とそれに基づく点検・評価 教育成果把握のための各種調査（学修行動と学修成果に関する調査、卒業生に対する調査、就職先企業等に対する調査等）の結果に基づく点検・評価
自己点検・評価結果の公表	大学ホームページでの公表 <a href="https://www.thu.ac.jp/aboutus/disclosure">https://www.thu.ac.jp/aboutus/disclosure</a>

**【自己評価 4-2】 当てはまる自己評価欄に○を記載。**

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

**●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記載。**

該当する 仕組み	名称	シラバス記載内容の点検
	委員構成等	各学科長、教務委員会構成員
	改善の仕組みの実際	本学シラバス作成要領に基づき、各教員がシラバスを執筆した後、教務委員会にて周知のうえ、学科長および教務委員が内容の点検を実施している。点検の結果、修正内容については報告書の提出を依頼し、提出された報告書をもとに修正内容を確認することで、シラバス内容の改善を図っている。

**【自己評価 4-3】 自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記載。**

自己点検・評価内容は学科会議でも報告し、PDCAサイクルを回すべく年1回の評価を始めたところである。